

議題（２）実証運行（素案）に対する市民意見について

１．概要

★パブリックコメント

- ・募集期間：平成 26 年(2014 年)12 月 25 日（木）から平成 27 年（2015 年）2 月 3 日（火）
- ・提出者数：8 名（33 件）

☆説明会

- ・1 月 19 日（月）14:00～15:30 スノーピーク箕面自然館（参加者 4 名）
- ・1 月 20 日（火）19:00～20:30 みのお市民活動センター（参加者 5 名）
- ・1 月 21 日（水）14:00～15:30 東生涯学習センター（参加者 3 名）
- ・1 月 22 日（木）19:00～20:30 西南公民館（参加者 1 名）
- ・1 月 25 日（日）14:00～15:30 中央生涯学習センター（参加者 9 名）

（１）運行計画（素案）17 件（★ パブリックコメント：11 件、☆ 説明会：6 件）

1. 毎年度、見直しが行われることにより、特に高齢者にとってはルートやダイヤを覚えられないため、利用がしづらい。（★0 件、☆1 件）
2. 収支率を重視した検討になっているように思える。箕面市民全員が税金を納めているので、全ての地域を平等に運行すべきではないか。（★1 件、☆1 件）
3. 休日限定ではなく、平日と休日の運行ルート、ダイヤを一緒にしてほしい。（★1 件、☆2 件）
4. 平日と休日の収支率を個々で考えるのではなく、一緒にして収支率が高ければ、日・祝ルートは残すべき。（★1 件、☆0 件）
5. 祝日だけ、平日ルートと同様にしてはどうか。（★2 件、☆0 件）
6. ダイヤを 2 時間に 1 本でも構わないので、平日と運行ルートを一緒にしてほしい。（★1 件、☆0 件）
7. 運行計画に休憩時間を設けることで、利用者が減少する可能性があるのではないか。（★0 件、☆1 件）
8. 休憩時間を目的地のバス停ではなく、小野原や栗生団地等でバスの待機時間がとれれば、バスの中で利用者が待つ事が出来たりするので利用しやすいのではないか。（★0 件、☆1 件）
9. 利用者数だけで、廃止のルートを検討するべきではない。（★1 件、☆0 件）
10. 日・祝ルートを廃止し、平日を充実させることも考えるべき。（★1 件、☆0 件）
11. 箕面市内は商業施設、娯楽施設が少ないため、お買い物バスではなく、日曜・祝日も「公共交通の整備」としての観点から検討すべき。（★1 件、☆0 件）

12. 運行当初の目標が達成出来ないのであれば、日曜・祝日ルートは廃止すべき。平日ルート
の利用者が増えてきたら、日曜・祝日を平日ルートで運行してはどうか。(★1 件、☆0
件)
13. 平日、日曜・祝日問わず、公共交通はなくすべきではない。(★1 件、☆0 件)

(2) 運行ルート 14 件 (★ パブリックコメント : 7 件、☆ 説明会 : 7 件)

1. 小野原東部のルートを残してほしい。(★2 件、☆1 件)
2. 小野原南から春日神社前のバス停を経由して折り返すのではなく、小野原東の阪急バスの
ターミナルでUターン出来れば、小野原東まで行くことが出来るのではないかと。(★ 2 件、
☆4 件)
3. 栗生団地から小野原に行く人数が少ないのであれば、小野原をルートカットして、栗生団
地、かやの中央、それ以外の地域を入れてパターンダイヤを組むことが考えられるので
はないかと。(★0 件、☆1 件)
4. 如意谷からかやの中央に直接行くルートが市立病院経由のみとなったが、かやの中央に行
く事はほとんど無い為、今回のルートも仕方無いと思う。(★0 件、☆1 件)
6. ルート数を増やし、乗車時間を短くするべき。(★1 件、☆0 件)
7. 東部北や東部中のルートがない。(★1 件、☆0 件)
8. 各ルートがコンパクトで分かりやすいルートになっていると思う。(★1 件、☆0 件)

(3) バス停 4 件 (★ パブリックコメント : 2 件、☆ 説明会 : 2 件)

1. 小野原東 6 丁目のバス停をなくすと、小野原南から坂を登って利用しなければならなくな
る (★0 件、☆1 件)
2. メイプルホールは日、祝にイベントが実施されている日も多いため、牧落の日、祝のバス
停を作してほしい。(牧落バス停利用者より) (★0 件、☆1 件)
3. 高齢者や障害者でも乗りやすいように、身近なバス停をもっと増やすべき。(★1 件、☆0
件)
4. 箕面 2 丁目の瓢箪池の前にバス停を作って欲しい。(★1 件、☆0 件)

(4) 運行ダイヤ13件 (★ パブリックコメント : 5 件、☆ 説明会 : 8 件)

1. 休日もパターンダイヤにして欲しい。(★1 件、☆4 件)
2. ダイヤに運転手の休憩時間があることで、利用者が減少するのではないか。(★0 件、☆1 件)
3. 栗生団地やかやの中央等で路線バスへの乗り継ぎが出来るダイヤにして欲しい。(★1 件、☆1 件)
4. 路線バスと似たようなルートを運行する場合は、路線バスが運行していない時間に、オレンジゆずるバスを運行させて欲しい。(★0 件、☆1 件)
5. 平日がパターンダイヤになり、大変利用しやすくなった。(★1 件、☆0 件)
6. 各ルートに乗り継ぎが出来るようなダイヤにすべき。(★2 件、☆0 件)
7. 便数が少ないため、目的地まで行っても帰りの便が無いことがある。(★0 件、☆1 件)

(5) 運賃制度 1 件 (★ パブリックコメント : 0 件、☆ 説明会 : 1 件)

1. 路線バスとの運賃の差がほとんど無いため、オレンジゆずるバスの運賃を下げ、似たようなルートや近いダイヤで運行している場合は、オレンジゆずるバスへの乗車を誘導出来るようにすべき。(★0 件、☆1 件)

(6) 車両 1 件 (★ パブリックコメント : 0 件、☆ 説明会 : 1 件)

1. 地域によっては多くの方が利用されており、高齢者でも立って乗られる方が多いため、車両を大きくすることも検討すべきだと思う。(★0 件、☆1 件)

(7) その他 19 件 (★ パブリックコメント : 8 件、☆ 説明会 : 11 件)

1. オレンジゆずるバスのみでなく、路線バスと連携をして、止々呂美地区等の交通不便地域も含めて、箕面市内全体の公共交通の対策を考えてほしい。(★0 件、☆1 件)
2. 阪急バス箕面森町線との乗り継ぎ割引等の、各地域に合わせた P R 活動をもっと行っていくべき。(★1 件、☆1 件)
3. 運転手によって、乗客への対応が異なる場合がある。(★0 件、☆1 件)
4. 自治会からの働きかけにより、利用者が多いバス停と少ないバス停の差が顕著に出てきており、少ないバス停への P R 活動がもっと必要だと思う。(★0 件、☆2 件)
5. 認知率が運行当初からほとんど変わっていないように見えるが、市の P R が少ないのではないのか。(★0 件、☆1 件)
6. 利用者を増やすため、観光と合わせて P R をすべき。(★0 件、☆1 件)
7. 各ルート of の行き先表示が分かりにくい。分かりやすい行き先表示名を考えてほしい。(★2 件、☆1 件)
8. 買い物ルートなのであれば、サポーター店にスーパーを追加してほしい。(★1 件、☆1 件)
9. 箕面駅のバス停の待機列が分かる様に列の線引きをしてほしい。(★0 件、☆1 件)
10. 豊中亀岡線において、特に日・祝は買いもの客で混雑をしているため、買いものに自家用車ではなく、公共交通を利用してもらうように商業者と協力してほしい。(★0 件、☆1 件)
11. 北千里や千里中央等行きのルートも運行するべき。(★1 件、☆0 件)
12. アンケート調査実施時に地域別の意見傾向が分かるように実施するべき。(★1 件、☆0 件)
13. 学校の長期休暇中の日曜は平日ルートで運行するなど、削減・廃止ではなく、利便性の向上を追加していくことを考えるべき。(★1 件、☆0 件)
14. 一度、運行したルートをカットすべきではない。(★1 件、☆0 件)